

## 令和3年度第1回

### 豊田市社会福祉審議会 高齢者専門分科会 議事録

日 時：令和3年10月5日（火）  
午後2時～午後3時30分  
場 所：市役所元城庁舎3階 大会議室  
Web会議

#### ■ 出席者

（豊田市社会福祉審議会高齢者専門分科会委員）

所属機関・団体名	氏名	出欠
豊田市民生委員児童委員協議会	兼子 吉彦	○
一般社団法人 豊田加茂医師会	柴原 弘明	○
愛知県立大学	田川 佳代子	×
一般社団法人 豊田加茂歯科医師会	谷川 博伸	×
日本福祉大学中央福祉専門学校	長岩 嘉文	×
社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会	中田 繁美	○
中京大学 現代社会学部	野口 典子	○
豊田市ボランティア連絡協議会	服部 亮二	○
豊田市高齢者クラブ連合会	花村 善照	○
豊田市区長会（自治区）	羽根田 宏之	○
豊田市ファミリー・サービス・クラブ	三崎 祐子	○
豊田市特別養護老人ホーム施設長協議会	三井 克哉	○
豊田市介護サービス機関連絡協議会	南 美代子	○
市民公募	村瀬 麻衣	○
一般社団法人 豊田加茂薬剤師会	山田 雄三	○

## ■ 豊田市社会福祉審議会 高齢者専門分科会 次第

### 第1 開 会

### 第2 議 事

#### (1) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関すること

第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の取組実績について  
(報告事項)

#### (2) 地域包括支援センター運営協議会に関すること

【議題1】地域包括支援センターが介護予防ケアマネジメント及び指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所について  
(承認事項)

【議題2】令和2年度地域包括支援センター事業報告及び収支決算について  
(承認事項)

【議題3】令和2年度地域包括支援センター事業評価結果の概要について  
(承認事項)

【議題4】令和3年度地域包括支援センター事業計画及び収支予算について  
(承認事項)

### 第3 連絡事項

## 〔 議 事 内 容 〕

(会長)

本日の議題は大きく2つあります。一つ目に、第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画が終了したということで、その取組について報告をいただきます。事務局から説明をお願いします。

(1) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に関すること

第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の取組実績について（報告事項）

概要説明（介護保険課）

- ・ 第7期高齢者保健福祉計画（全体・重点施策）及び介護保険事業計画の取組実績について説明

(会長)

介護保険事業計画はコロナ禍での大きな変化はなかった、ただ通所サービスが落ち込んでいるということのようです。これは豊田市の特徴なのかもしれませんが、訪問介護も短い時間で色々な形の使い方をしているという、本来の訪問介護のあり方だと思うのですが、非常に計画がきちんとできていてその計画に基づいて運営しているということの表れでもあるかと思います。

御意見・御質問などはいかがでしょう。

(委員)

めざす姿は介護を必要としない環境づくりです。令和2年度はコロナの真っ只中でした。高齢者クラブの活動でもコロナ禍でできる事業を企画してきましたが、令和2年度にできなかったことをコロナ禍でどうしていくのかというのが令和3年度の大きなテーマであると思います。そのあたりはどのような状況かお聞かせください。

(事務局)

集まって活動するのは難しいのですが、先ほどの報告にもあったように動画配信や家でできる健康体操などの情報を発信することはできるので、そういったことにも取り組んでいます。また、必ずしも集まらなくても市として色々なイベント等も情報発信していきますので、密にならない形で各自が行動していただけるようにしたいです。高齢者クラブでもそういった情報を展開し、促してもらいたいです。

(委員)

日本中でも言われていますが、コロナ禍でどうしていくのかというのは、新しい時代のチャレンジのテーマになっていると思います。今後もこのようなことがあった場合に、どうしていくかというテーマ検討も進めていただくと今後の参考になると思います。

(委員)

私はヘルスサポートリーダーにずっと携わっており、実績で元気アップ関係はまったくできなかったという報告がされたのですが、この時期なので、高齢者向けに大きな活字でコロナに気を付けようというパンフレットを全戸に配る等、コロナ向けの活動を積極的にすべきだと思います。コロナ禍に合わせた活動があると思うので工夫をしていただきたいです。また、誰一人取り残さないということが本来の目標だと思います。本当に支援が必要な人に事業が行き渡っているのか疑問に思うことがあります。特に一人暮らし高齢者を対象にした本当に必要な事業が行き渡っているのかという目で活動をお願いします。

(会長)

資料1の5ページで豊田市の場合には、健康と福祉の相談窓口を重点的に置き、そこに専門職を配置する、あるいは令和3年度から重点的支援体制推進事業に取り組まれているので、このあたりをもっとアピールする、あるいは分かりやすく、使いやすくするということを含めてのお話だったと思いますがいかがでしょうか。

(事務局)

令和2年度から地域に密着した相談体制という観点から各支所に福祉の相談窓口を配置しています。そこで支所職員や社会福祉協議会のCSWと連携を図りながら、地域も入って丸ごと受け止める相談体制を構築しています。重層的支援体制推進事業は全国で42自治体がモデル的に取り組んでいる事業です。重層的支援体制は5つの事業に分かれており、様々な複合的・複雑化した相談を本市で世帯ごと相談支援に入り、解決を図るという取り組みを令和3年度から実施しています。特にコロナ禍で生活困窮者が顕著に表れており、そのような世帯の複合的な課題に対して支援をしていく体制を整えています。

(会長)

取り組んでいらっしゃることはよく分かるのですが、住民の立場になると、自分はそれにあたるのかあたらないのかが分かりづらいものです。短くてもいいので、こんな相談でもいいんだというような事例を広報に載せたり、自分の状況は相談してもいいんだとなにかとっかかりになるようなものを宣伝していただくといいと思います。そういうことでし

ようか。

(委員)

そうです。あまり知られていないということがひとつあります。みんなそれを利用したいのですが、なかなか進んではできません。やはりCSWの方が訪問しないと出てこない問題がたくさんありますので、市もそういう姿勢でお願いしたいです。

(事務局)

元気アップ教室について、昨年度は新型コロナの影響で中止でしたが、その都度開催の時期を狙っていました。ただやはりワクチン接種の見通しがなかったことや高齢者の方が重症化になることがあり、結果的には中止にしました。ただ、色々な形での発信はしてきました。また今年度当初から市内193か所にある自主活動グループの方たちが安心して活動できるように保健師を派遣し、感染予防の話をしながら再開できるように支援しています。現在70%くらいの自主活動グループに派遣し、再開しています。今年度交流会はできませんが、元気アップ通信を送付していきたいと考えています。元気アップ教室は10月以降10か所ほど開催予定で調整しています。来年度は自治区でも開催できるように保健師を通じて自治区の区長さん等をお願いし、準備を進めているところです。

(会長)

これはお願いなのですが、こういう時期がこれで終わりとは言い切れないと思います。この先色々な形でやってくる、そうだとすると、この時期なにができてどうすればなにができたのか記録を取っておいてください。どうすればこのぐらいのことができたのか、それはみなさんのどの程度のどういう形の努力や工夫があったのかということを残しておかないとまた同じようにジタバタしてしまいます。おそらくこれで終わらないし、もっと色々なことが起きてくる可能性もあるので、ぜひお願いします。地域に向けてどういうことができたのかできなかったのか、どうすればできるようになったのか、それでもやっぱりできなかったことはなんなのかを記録してください。

(委員)

色々な取組をしていることは分かるのですが、情報が伝わっていないと思うので、効果的な情報発信について検討してほしいです。

(委員)

介護保険の認定について、今回のデータでは豊田市の認定率が全国や県内の数値より低

いという数値が出ていますが、もう少し分析をお願いしたいです。市内28の地域支援センターが熱心に業務をしており、早期発見早期キャッチで早期の認定または早期に介護保険給付以外のサービスにつなぐという取組をしている効果がどの程度あるのか、高齢者クラブや元気アップ教室や体操教室、マレットゴルフ等評価が難しい部分もあるが、そういうものが効果があって認定率が下がっているのかが知りたいです。私は認定審査会の委員もしていて、要支援の方の認定が多いという印象も持っています。要介護と要支援ではまたグラフが変わってくると思うので、データを出す際にはそのあたりも丁寧に出していただくと、介護保険の取組の効果があって認定率が下がったのであれば、それは非常にいい取組、成果だと思います。

(会長)

それでは次の議題にまいります。

## (2) 地域包括支援センター運営協議会に関する事

### 【議題1】 地域包括支援センターが介護予防ケアマネジメント及び指定介護予防

支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所について（承認事項）

概要説明（高齢福祉課）

- ・ 地域包括支援センターが介護予防ケアマネジメント及び指定介護予防支援の業務の一部を委託できる指定居宅介護支援事業所について説明

(会長)

承認いただけますでしょうか。ありがとうございます。それでは次にいきましょう。

### 【議題2】 令和2年度地域包括支援センター事業報告及び収支決算について（承認事項）

概要説明（高齢福祉課）

- ・ 令和2年度地域包括支援センター事業報告及び収支決算について説明

(会長)

ケアマネジメントが3,000件増えたということは業務量としては大変だったと思いますが、それだけ相談が増えたということで、地域包括支援センターが認知されてきているということにもつながっています。

承認いただけますでしょうか。ありがとうございます。それでは次にいきましょう。

### 【議題3】 令和2年度地域包括支援センター事業評価結果の概要について（承認事項）

概要説明（高齢福祉課）

- ・ 令和2年度地域包括支援センター事業評価結果の概要について説明

（会長）

ありがとうございます。国への報告の他に市独自の評価もされているとのことですが、いかがでしょうか。

（委員）

3点あります。

まず、10ページの取組について、だれがまとめていくか今後明確にしていきたいです。

次に、11ページのひとり暮らし高齢者登録者数を教えていただきたいです。

最後に、89ページ高齢者クラブがない地域で活動が増えるということでしょうか。

（事務局）

令和2年度のひとり暮らし高齢者登録者数は3,322人です。

89ページについては、そのとおりです。

（会長）

承認いただけますでしょうか。ありがとうございます。それでは次にいきましょう。

【議題4】令和3年度地域包括支援センター事業計画及び収支予算について（承認事項）  
概要説明（高齢福祉課）

- ・ 令和3年度地域包括支援センター事業計画及び収支予算について説明

（会長）

承認いただけますでしょうか。ありがとうございます。

（会長）

最後にみなさま一言ずついただければと思います。よろしくお願いします。

（委員）

地域包括支援センターがコロナ禍でも、色々なことに取り組んでいることなどが分かりました。コロナ禍で感じたことは、人とのつながりがなくなることで体の調子を悪くされ

たり、認知症が進んだりということが顕著になっていることです。これをきっかけに検証し、このようなことがあってもみなさんが生き生きと暮らせるようにしてほしいです。

(委員)

福祉の仕事は大変だが、重要な仕事なので頑張ってもらいたい。

(委員)

様々な活動をしているが、どこまで地域の方に浸透しているかが重要です。自治区にも回覧してほしいというものがたくさん来るが、果たして何人の方が読んでいるか。回覧するだけでなく、人が興味を持つような分かりやすいものを作成していくと事業が深く認知されていくと思います。

(委員)

共生型サービスの創出についていくつか疑問があります。今までは高齢者、障がい者、子どもとそれぞれのエキスパートが対応していたが、それをひとつにすることでどんなメリットがあるのか、そのめざすところはどんなことなのか、高齢者のケアをしている人が障がい者や子どもまで専門知識を広げなければならないのか、またこのようなものが今求められているのか等疑問に思いました。

(委員)

訪問介護で利用回数が増えている、少額サービスが多頻度で行われているということでしたが、事業者はこのサービスが継続できるのか、収支的に長期の視点で見ると今後の不安材料になるかと考えます。そのあたりを考慮する必要があると思います。また情報提供については長らく問題になっているが、受け取る高齢者側からすると受け取り方にあまり変化はないと思うので、そのあたりでよい方法はないかと思っています。

(委員)

PDCAを回すことがいかに大事なことが、いかに具体的に実行するかが大切だと思います。自分に関係ないと思わず、当事者意識を持つことと、なにが自分たちでできるか、なにがお願いしたいことなのかをきちんと考えていくことが大切で、身近なことや小さなことの積み重ねが重要だと思うので、関係機関とそういうことを積み重ねていきたいです。

(委員)

昨年からのコロナ禍で市内200か所の事業所は、コロナにかからない、持ち込まない

ことを第一に最善を尽くしました。スタッフも様々な業務があり、お互い補いながら必死に取り組んできました。コロナが収束したわけではないので、油断せずに今後も最善を尽くしていくつもりです。コロナ禍での現場の取組を評価してほしいと思います。

(委員)

豊田市社会福祉協議会は今年度から会費で初任者研修を実施しました。コロナ禍でなにができるか考え、こんなときだからこそ人材育成・養成に取り組んできました。基幹包括支援センターについて、認知症初期集中支援チームなどの業務もあり、社会福祉協議会が基幹包括支援センターを担ってよいのだろうかとも思います。今後に向け、適切な機関が委託を受け、進めていくのも一つの方法かとも思います。医療的な観点からの御意見もお願いします。

(委員)

コロナワクチンの優先接種があったことは特別養護老人ホームにとってありがたいことでした。それぞれの施設職員が感染症対策に一丸となって取り組んできました。市内施設で大規模クラスターが現段階までなかったのは、そのような取組の結果だとも思います。身近でも感染者に接する機会があり、発信し続けていることは、感染者の権利、人権擁護です。本人だけでなく家族等も含めて守っていくことを第一にしています。そして自分の周りには濃厚接触者がいないと言い切れる行動をそれぞれがとろうと取り組んでいます。

(委員)

3点お願いします。一つ目は、市役所の説明は短くポイントでお願いします。二つ目は、委員からお話のあった認知症初期集中支援チームについては、医療だけの視点では非常に難しい部分があります。患者様の視点、地域包括ケアのみなさまの視点、色々な職種の方の御意見が非常に大事だと思っています。ぜひ医療系だけでなく、委員の視点からもサポートしていただけますと嬉しいです。三点目ですが、医療の面、介護の面、福祉の面からも医師会がサポートさせていただきます。少しでもお力になればと思いますので引き続きよろしくお願ひいたします。

(会長)

ありがとうございました。以上で終了とします。それでは事務局にお返しいたします。

(事務局)

長時間に渡り、活発なご審議、ご意見、現場のお話等聞かせていただき非常に参考にな

りました。ありがとうございました。

それでは事務連絡をさせていただきます。次回、今年度第2回の専門分科会を年明けの令和4年2月頃に予定しております。日程については改めてお知らせいたしますので、調整の上、御参加いただけますと幸いです。

以上をもちまして、令和3年度第1回豊田市社会福祉協議会高齢者専門分科会を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上